

臨床心理学

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 前田 直樹

■使用テキスト 下山晴彦監修「面白いほどよくわかる臨床心理学」西東社

◆参考テキスト 松原達哉（編）「図解雑学 臨床心理学」ナツメ社

講義概要・一般目標

臨床心理学とは、心理学の知識と技法を用いて、心理的な問題を抱えている人々を支援するための学問である。臨床心理学は、アセスメント、心理的支援、コミュニティアプローチ、調査研究の4つの柱で成り立っており、それぞれの領域について幅広い知識が必要になる。また、近年では、面接室で個別に行われるカウンセリングや心理療法だけでなく、コミュニティの中で他職種と連携した支援が求められるようになってきた。これらのことを踏まえ、本科目では臨床心理学の理論、技法、コミュニティアプローチなど幅広く学習することを目的とする。

到達目標

- 1) 臨床心理学を構成する様々な理論を理解する。
- 2) 臨床心理学で用いられるアセスメントの方法について理解する。
- 3) カウンセリングや心理療法で用いられる基本的な技法を理解する。
- 4) 臨床心理学が扱う心の病についての知識を身に付ける。
- 5) 臨床心理学的知識と技法が用いられる様々な領域について理解する。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 臨床心理学とは何か。

この章のポイント

この章では、臨床心理学の概要について学習する。特に近年の臨床心理学の基本理念である、「科学者—実践家モデル」「エビデンスベーストアプローチ」「生物—心理—社会モデル」については、重要な内容であるため、精読して理解を深める必要がある。

第2章 アセスメント

この章のポイント

この章では、臨床心理アセスメントとは何か、アセスメントの進め方、アセスメントの技法、データの分析技法について学習する。アセスメントには、知能検査、人格検査、質問紙法、投影法などの様々な種類があり、それぞれの特徴を理解しておかなければならない。

第3章 人の発達と心の問題

この章のポイント

この章では、発達心理学の基礎知識、各発達段階の特徴、発達段階での心の問題について学習する。特に近年注目されている発達障害については、その障害の種類と基本的特徴について押さえておく必要がある。また、発達過程で生じる不登校、いじめ、非行、自殺などへの対応についても理解を深めておく必要がある。

第4章 異常心理学

この章のポイント

この章では、異常心理学の基礎知識、精神障害の判断基準と介入、各精神障害の特徴について学習する。各精神障害の症状の特徴を抑え、どのような方法で支援していくのかを理解しておく必要がある。

第5章 問題への介入

この章のポイント

この章では、臨床心理学における介入とは何か、心理療法の理論、心理療法の技法について学習する。心理療法には様々な理論があり、その理論に基づいて技法が開発されていることを理解しなければならない。また、介入は個人と集団へのアプローチがあり、その特徴についても学ぶ。

第6章 コミュニティへの介入

この章のポイント

この章では、地域社会といったコミュニティでの臨床心理学的支援活動について学習する。主な活動としては、教育現場での支援、被害者支援、異文化接触への支援、労働者支援、障害者支援などがあり、それぞれの領域に必要な知識を身につける。

第7章 臨床心理学の研究活動

この章のポイント

この章では、臨床心理学における研究活動とは何か、研究活動の理論、研究活動の技法について学習する。効果的な臨床心理学的支援を行うために、研究活動は欠かせないものである。しかし、基本的な研究法を理解しておかなければ研究活動を行うことはできない。

第8章 社会と臨床心理学

この章のポイント

この章では、臨床心理学の活動領域、臨床心理の専門家の資格や活動内容について学習する。臨床心理の専門家の主な活動領域は、「教育」「医療・保健」「福祉」「司法・矯正」「産業」の5つであり、各領域の現場にはそれぞれ独自の特徴があり、それを踏まえて活動しなければならない。この章ではその基本的な内容について理解を深める。